

## 第18回リウマチ膠原病疾患連携の会 開催報告

5月15日（金）20時から当院5階会議室の現地参加とWEB（Zoom）参加によるハイブリッドで開催しました。

薬剤情報提供はエーザイ株式会社の担当MRさんから“ジセレカ<sup>®</sup>”についての情報提供をいただきました。

本会では、リウマチ学会総会でもセッションのあった免疫関連有害事象 immune-related adverse events：irAEについて取り上げました。

免疫チェックポイント阻害薬（ICI）はこれまで有効な治療法が提供できなかった進行期の担癌患者さんに対して使用することにより有益な結果を得ることが期待できるようになった一方で、鎮静化するはずの免疫系を活性化させ、様々な自己免疫性疾患様の病態を引き起こすことがわかってきている。

irAEの診療における問題点の一つに、ICI投与終了後数年たってから発症することもあるにもかかわらず、初発症状は非特異的で初療医がICI投与後の症例であることを認識しない、また、認識しているがirAEを想定しない診療を行っていることが多いことである。

これらを踏まえて、筋骨格系症状を起こすリウマチ性irAEについて症状、診断方法、治療、およびICIの種類や対象となった悪性疾患との関係も含めて紹介しました。

次回は、6月5日（金）20時から開催予定で、テーマは「自己炎症症候群とは（痛風からVEXAS症候群まで）」を予定しています。

みなさまのご参加をお待ちしております。